

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成29年2月9日(2017.2.9)

【公開番号】特開2015-143932(P2015-143932A)

【公開日】平成27年8月6日(2015.8.6)

【年通号数】公開・登録公報2015-050

【出願番号】特願2014-17061(P2014-17061)

【国際特許分類】

G 06 Q 30/02 (2012.01)

G 07 G 1/12 (2006.01)

【F I】

G 06 Q 30/02 1 0 0

G 07 G 1/12 3 6 1 Z

【手続補正書】

【提出日】平成28年12月21日(2016.12.21)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

複数の対象のそれぞれに関する属性情報を記憶する属性情報記憶部と、
対象に関して予め定められた複数のステータスの中で、前記複数の対象それぞれが属するステータスを、各対象の属性情報に応じて判定する判定部と、

複数の状態位置に、前記複数のステータスを示す複数のシンボルを配置し、異なる状態位置のシンボルを線で結んだグラフであって、ある状態位置におけるあるステータスに属する対象数に応じてそのシンボルの態様を調整し、かつ、シンボル間を移動した対象数に応じて線の態様を調整したグラフを表示させるグラフ表示部と、
を備えることを特徴とする情報分析システム。

【請求項2】

前記複数の対象のそれぞれに関する属性情報は、前記複数の対象のそれによる所定の物事の実績を示す情報であることを特徴とする請求項1に記載の情報分析システム。

【請求項3】

前記グラフ表示部は、前記グラフにおける1つのシンボルをユーザが選択した場合に、選択されたシンボルが示すステータスに属する対象を母集団として、前記複数のシンボルの態様、および、シンボル間を結ぶ線の態様を再調整したグラフを表示させることを特徴とする請求項1または2に記載の情報分析システム。

【請求項4】

ユーザにより選択された前記グラフにおける特定のシンボル間の移動について、その移動を行った対象に関する情報を一覧表示するリスト表示部をさらに備えることを特徴とする請求項1から3のいずれかに記載の情報分析システム。

【請求項5】

ユーザにより選択された前記グラフにおける特定のシンボル間の移動について、その移動を行った対象に関する、前記特定のシンボル間で示される状態における属性情報の内訳を表示する属性情報の内訳表示部をさらに備えることを特徴とする請求項1から4のいずれかに記載の情報分析システム。

【請求項6】

複数の対象それぞれに対して実施されたアクションを記憶するアクション記憶部と、
ユーザにより選択された前記グラフにおける特定のシンボル間の移動について、その移
動を行った対象に対して、前記特定のシンボル間で示される状態において実施されたアク
ションの内訳を表示するアクション内訳表示部をさらに備えることを特徴とする請求項1
から5のいずれかに記載の情報分析システム。

【請求項7】

対象に関して予め定められた複数のステータスの中で、複数の対象それぞれが属するス
テータスを、所定の記憶装置に記憶された各対象に関する属性情報に応じて判定する機能
と、

複数の状態位置に、前記複数のステータスを示す複数のシンボルを配置し、異なる状態
位置のシンボルを線で結んだグラフであって、ある状態位置におけるあるステータスに属
する対象数に応じてそのシンボルの態様を調整し、かつ、シンボル間を移動した対象数に
応じて線の態様を調整したグラフを表示させる機能と、

をコンピュータに実現させるためのコンピュータプログラム。